

ジオメンブレン技術委員会発足について

(株) ジオトップ 金井重夫

数カ月の準備期間を経た後、標記ジオメンブレン技術委員会が国際ジオテキスタイル学会日本支部内に設立され、去る11月17日、第1回会合が開かれた。ジオメンブレンは、国内においては主として公園やゴルフ場の人工池、農業用水路、廃棄物処理場などで遮水・防水用に使われてきた。一方、欧米では環境保護に対する意識の高まりとともに、これらの用途の中でも特に、廃棄物処理場（landfill）に利用されるケースが増加しており国際学会での発表もきわめて盛んに行われている。しかしながら、国内では所轄官庁や研究グループが多岐にわたり有機的な活動にいたっていなかったことなどから、例えば環境保護分野にジオメンブレンを積極的に適用するといった取り組みがなされていなかった。以上のような見地から、本技術委員会は土質工学会を中心に各種研究グループと連携をとりながら、ジオメンブレン技術の環境保護分野への一層の普及と土木工事全般への適用技術の向上、素材自体の性能向上を推進し、加えて諸外国との交流を図ることを目的として設立された。

上記の目標を踏まえ、本技術委員会は、期間を3年として、次のような活動を行なう。

- 1) 各種団体、諸外国の基準を参考にしながら、我国の実情に即したジオメンブレンの技術基準を検討する
- 2) 国際ジオテキスタイル学会に設けられている継ぎ手研究会に協力する
- 3) ジオメンブレン分野の関連情報を集積し、その内容等を逐次、機関誌に掲載する
- 4) ジオメンブレンの利用技術に関するセミナー・講演会を定期的を開催する
- 5) ジオメンブレンの新しい適用への提案・協力を実施する

本技術委員会の当面の活動メンバーは以下の通りである。

委員長	堀口 隆司	(株) ジオトップ
顧問	福岡 正巳	東京理科大学 理工学部土木工学科
委員兼幹事	熊谷 浩二	前田建設工業(株)
委員	赤木 俊充	東洋大学 工学部土木工学科
〃	新井 斉	前田建設工業(株)
〃	岩崎 高明	三井石化産資(株)
〃	田島 健司	三菱建設(株)
〃	細谷 芳巳	(株) 大林組
〃	巻内 勝彦	日本大学理工学部
〃	増田 民夫	東京電力(株)
〃	三木 博史	建設省土木研究所
〃	若宮 正敏	(株) プリヂストーン
〃	金井 重夫	(株) ジオトップ